

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「探究的な活動の充実」	千葉県立船橋高等学校	全日制 普通科

## ア 取組状況について

### ① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は1920年(大正9年)創立、各学年普通科8クラス、理数科1クラス計27クラス規模の全日制高校である。
- ・校訓「専心研学」のもと、自他を尊重し、創造性と実践力を兼ね備えた、社会貢献できる人材を育成することを目標としている。
- ・1, 2年次は芸術を除き、共通の科目を履修する。3年次は進路希望に応じて文類型・理類型に分かれる。
- ・「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」(令和6年度より第IV期指定)として、研究開発テーマ「自立した探究力で『未踏』に挑む人材の育成～深め、繋がり、未来を拓く力を育てる～」のもと、未踏の課題に挑み、探究する力を育成するための教育課程を編成している。

(授業展開)

- ・理数科では、生徒が主体的に科学的な課題を設定して探究する学校設定科目「SS理数探究I・II」を中心に、3年間のカリキュラムを編成。課題研究に取り組み、探究力を育成する。
- ・普通科でも、学校設定科目「SS情報探究I・II」を設置し、身近な疑問からテーマを設定し、仮説を検証・発表し、新たな疑問を生み出すサイクルを通して、探究心を育成する。

### ② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・学科の特性に応じた探究指導方法を開発するため、普通科・理数科探究指導研究会を組織し、毎週研究会を実施して、指導計画や手法、教材開発、評価方法の改善などに取り組んでいる。
- ・探究成果の評価にルーブリックを導入して、指導と評価の一体化を目指すとともに、授業担当教員同士での議論を通して、適切な評価指標を研究・開発している。

(外部人材の活用)

- ・SSH運営指導協議会を設置し、SSH研究開発計画についての助言・指導を受けている。
- ・理数科については、大学教授等から直接研究指導を受ける「サイエンスメンター」制度に取り組んでおり、より課題研究を深める指導方法について研究している。

### ③ 校内組織

- ・普通科・理数科探究指導研究会を設置している。特に普通科探究指導研究会は国・社・数・理・英の各科目の教員で構成し、領域にとらわれない探究力の育成に取り組んでいる。
- ・SSH事業を推進・統括する組織として、校内分掌に科学教育統括部を設けている。

### ④ 施設設備

- ・全館にBYOD用無線LAN、各普通教室にプロジェクタとスクリーン、さらに各理科教室には大型モニタや実物投影機を整備している。
- ・Google Workspace for Educationを導入し、生徒・教員間の情報共有を促進している。

### ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法

- ・取組成果発表の機会としてSSH発表会を実施している。
- ・研究開発報告書を作成し、県内外SSH校に配付するとともに、学校HPに掲載している。

### ⑥ その他(学びの変容について)

- ・両学科とも、3年間をとおして探究しようとする姿勢、クリティカルに物事を分析する姿勢が身につく、自身の考えを論理的に表現できるように成長している。

### ⑦ ポイント(優先順に箇条書きで3つまで)

- ・学科の特性に応じた指導
- ・教員の積極的関わりと議論
- ・発表こそが成長を助長

## イ 今後の課題

- ・一部の教員への負担偏重を避け、学校全体で探究学習を推進するための体制の整備
- ・教員が探究指導について研究する時間の確保と探究学習に対する意識の醸成